

れた学びを得ました。理想論ではなく、現場で実践するための即戦力的な知識として提供されるのが他にはない財産だと感じています。このような学びの機会を与えていただいた日本医療マネジメント学会、医療安全分科会関連の皆様深く感謝いたします。

特別講演では、KK日本経営 福岡オフィス長の橋本竜也氏をお招きして「医療機関で取り組むべき実践的人材育成・組織活性化」という演題で、医療機関の人材について講演をいただきました。テンポよく、わかりやすい講演で、人材育成と組織活性化について改めて深く考えさせられました。

本学術集会は、今年も例年通り広範な医療の管理と運営の研究課題を議論する極めて重要な場となりました。

## 支部学術集会

### 開催報告

#### 第5回福島支部学術集会

学術集会会長：公益財団法人湯浅報恩会寿泉堂総合病院副院長  
浦住 幸治郎



会場風景

2014年8月2日(土)、福島県看護会館にて、第5回福島支部学術集会を開催いたしました。当日は35℃の猛暑の中、189名の参加をいただき、「質向上に求め

られる安全教育・育成」をテーマに一般演題19題の発表、シンポジウム5題の講演、他に4病院からはクリティカルパスの展示もあり盛大に開催されました。

一般演題では、「チーム医療」「教育」「転倒・転落」「業務改善」の4領域について発表があり、学会参加者との間で熱心な意見交換がなされました。

シンポジウムでは「今、求められる安全教育と育成」をテーマに5人のシンポジストから貴重な講演をいただき、その後の全体討議では白熱した討論がなされ、有意義な情報交換の場となりました。

最後になりますが、今回の学術集会の開催にあたりご協力、ご支援いただきました関係者の皆様心より感謝申し上げます、開催の報告とさせていただきます。

#### 第12回高知県支部学術集会

学術集会会長：いずみの病院院長 夕部富三

第12回日本医療マネジメント学会高知県支部学術集会は、2014年8月24日(日)に「高知市文化プラザかるぽーと」において、267名の参加のもと開催され、その内訳は、学会会員23名、学会非会員242名、学生2名でありました。応募演題は62題を数え、14のセッションのうち、医療安全が12題、感染対策が9題、リハビリテーション3題、連携・退院支援7題、栄養管理9題、ヒトの管理6題、褥瘡対策3題、モノの管理4題、災害医療5題、情報の管理4題で、活発な意見交換がなされました。

#### 第15回茨城県支部学術集会

学術集会会長：株式会社日立製作所日立総合病院院長 奥村 稔

2014年11月8日(土)、日立シビックセンターにおいて、第15回日本医療マネジメント学会茨城県支部学術集会が開催されました。「チーム医療が病院を変える～医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の更なる推進をめざして～」をメインテーマに特別講演、教育講演、パネルディスカッション、一般演題68題、クリティカルパス展示10題と多くの発表が行われ、当日は県内各地から508名のご参加をいただきました。

特別講演では東邦大学医療センター大森病院の鷲澤尚宏先生に「複数のチーム医療が連携するということ」と題したご講演をいただき、教育講演ではピアサポーターの高橋裕恵先生に「人とのつながりが生きる力」と題したご講演をいただきました。また、県内5人の先生にパネラーをお願いし、「多職種が果たすチームの中の役割」と題したパネルディスカッションも行われました。

最後に、今回の学術集会運営にあたり、ご協力をいただきました皆さまには心より感謝を申し上げ、開催の報告と致します。

#### 第5回愛媛県支部学術集会

学術集会会長：国立病院機構愛媛医療センター院長 岩田 猛



会場風景

2014年11月9日(日)9:55～17:05に愛媛大学医学部附属病院40周年記念講堂と臨床第一講義室にて第5回日本医療マネジメント学会愛

媛県支部学術集会を行いました。

今回の学術集会テーマは「超高齢化社会へのチャレンジ～チームで創る医療サービス」と致しました。特別講演としては高齢者・認知症ケアとして注目をされているユマニチュードメソッドの日本での第一人者であ